

間違わない補聴器の 選び方 着け方 (1)

博士補聴器 代表 由井 宏知

快適・安心の〈きこえ〉めざして



明・調整・サポートもまだ
まだ不十分であることを痛
感いたします。この度、本
紙で補聴器について記事を
書かせていただく機会をい
ただきましたので、補聴器
をお考えの方、すでに使用
中の方、そうでない方にも
参考になる情報をご提供で
きれば幸いです。

こと、私ども補聴器店の説

初めまして、白井市で補
聴器専門店をしております
由井と申します。地元千葉
ニュータウン近郊で小さな

保有率、満足度も低い 日本の補聴器事情

お子様から高齢の方、先
天性の難聴から加齢による
難聴まで、きこえにお悩み
の全ての方々、そのご家族
のお役に立てるよう努めて
おります。

補聴器というご自分に
はあまり関係無いとお思い
になる方が多いと思います
が、実は先進国では程度の
違いはあるにしても、だい
たい人口の10%から15%
の人に何らかの難聴がある
と言われています(※1)。

難聴者の全体数は先進各国
でさほど差はありません
が、難聴者の「補聴器保有
率」と「満足度」に着目す
ると、欧米における難聴者
の「補聴器保有率」はアメ
リカ24・6%、ドイツ34・
0%、イギリス41・1%に
対して日本は14・1%、「満
足度」ではアメリカ74%、
ドイツ77%、イギリス72%
に對して日本は36%に止
まっています。日本の満足
度が低い理由として使用中
の聞き取りの状況、音質、
製品への信頼度、販売店の
サービスに対する不満が挙
げられています(※2)。

私ども「博士補聴器」は、
まず補聴器を販売する側が
日本と海外では一体何が違
うのかを知り、問題点を改

善することが必要であると
考え、アメリカなど海外の
補聴器先進国で研修を受
け、皆様により快適に安心
して補聴器をお使いいただ
くために努力しております。

次回は、「博士補聴器」
の取り組みについて詳しく
ご紹介いたします。

※1 関谷芳正著 ヤエ
スメディアムック『よ
くわかる補聴器選ぴ
2015年版』より。

※2 一般社団法人
日本補聴器工業会
『JapanTrak 2012』
より。



博士補聴器
Dr. Hearing Group

白井市役所近く

木下街道沿い

補聴器のことなら何でもご相談ください

営業時間：9:00~18:00 定休日：木曜日（土日祝営業）

白井市根 115-24 あり FAX 047-492-6333